

2019（令和元）年7月18日

奈良市長 仲川 げん 様

奈良市教育長 中室 雄俊 様

追加版

平城西中学校区における施設一体型小中一貫校についての提案

新小中学校開校準備協議会

会長 笹部 和男

7月9日付けの提案に次の提案を追加させていただきます。

1 保健室については、2室に分けて欲しい。

理由

・発達段階が違うので保健室の利用目的が違うから

小学校は怪我や体調不良だけではなく排泄の失敗や嘔吐の処理などの生活支援をする事が多く、また下痢や嘔吐物の処理の際に教室から保健室が遠いと感染症が校内に蔓延する心配があるため。

中学生は怪我や体調不良の利用だけでなく、思春期を迎え心と体の成長にともない様々な不安や課題を抱えて保健室に来ていて、受験のプレッシャーで不安定になり利用する生徒も多く、保健室の先生には生徒の話を傾聴してもらっている。小学校では毎月の発育測定や保健指導で保健室を使ったりするし、小学生のいる空間で中学生は本音を話しにくい。

・小学校と中学校では授業時間に対するとらえ方や保健室利用のルールが違う。

中学校では授業中の利用や授業に遅れた時には学級担任と教科担任が連絡を密に取り合い、保健室での休養は原則的に1日1時間と指導されているが、小学校では体調不良で早退させる時もお迎えが来るまでの時間は休養させておられる。時間の流れが違う子ども達を一つのスペースで対応するのは困難であろうことと、施設一体型の小中一貫校になるからこそ、児童と生徒が必要な時にルールを守り、プライバシーに配慮された安心して利用できる居場所であるべき保健室は、小学校と中学校で別々の空間を用意する必要があるため。

2 現中学校のグラウンドは、野球の公式戦の開催が可能であるだけのスペースの確保をしておいて欲しい。